

菅江真澄式

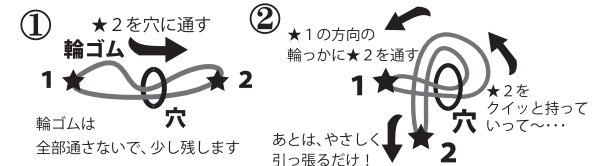
ナマハゲのお面

- 1、お面に色をぬる
 - 2、顔と黒目をハサミで切り抜く
 - 3、穴開けパンチで耳のあたりに穴を開ける
(穴開けパンチ(ハトメパンチ)があるからスタッフに声をかけてね！)
 - 4、3で開けた穴に輪ゴムを通す
- 完成!!!

2の黒目の切り抜き方

最初に目の白い線の通りにハサミで切り込みを入れよう。黒目が切りやすくなるよ。

4の輪ゴムの通し方



最後に、開けた穴の周りをセロハンテープで補強しよう!

このお面は菅江真澄の日記を元にしているよ！
男鹿のナマハゲの姿を最初に図絵に描いて紹介したのは、
すがえますみ
江戸時代の紀行家・菅江真澄であると
いわれています。1810(文化7)年に
男鹿半島を旅していた際の日記(紀行文)
おがさむかぜ
『男鹿の寒風』のなかで、この辺りの集落では
正月十五日(小正月)に、各家々を訪れる
なまみはぎ
「生身剥」、「なまはぎ」という存在があると記録しています。